

低リスク患者における治療中低血圧と心血管イベント

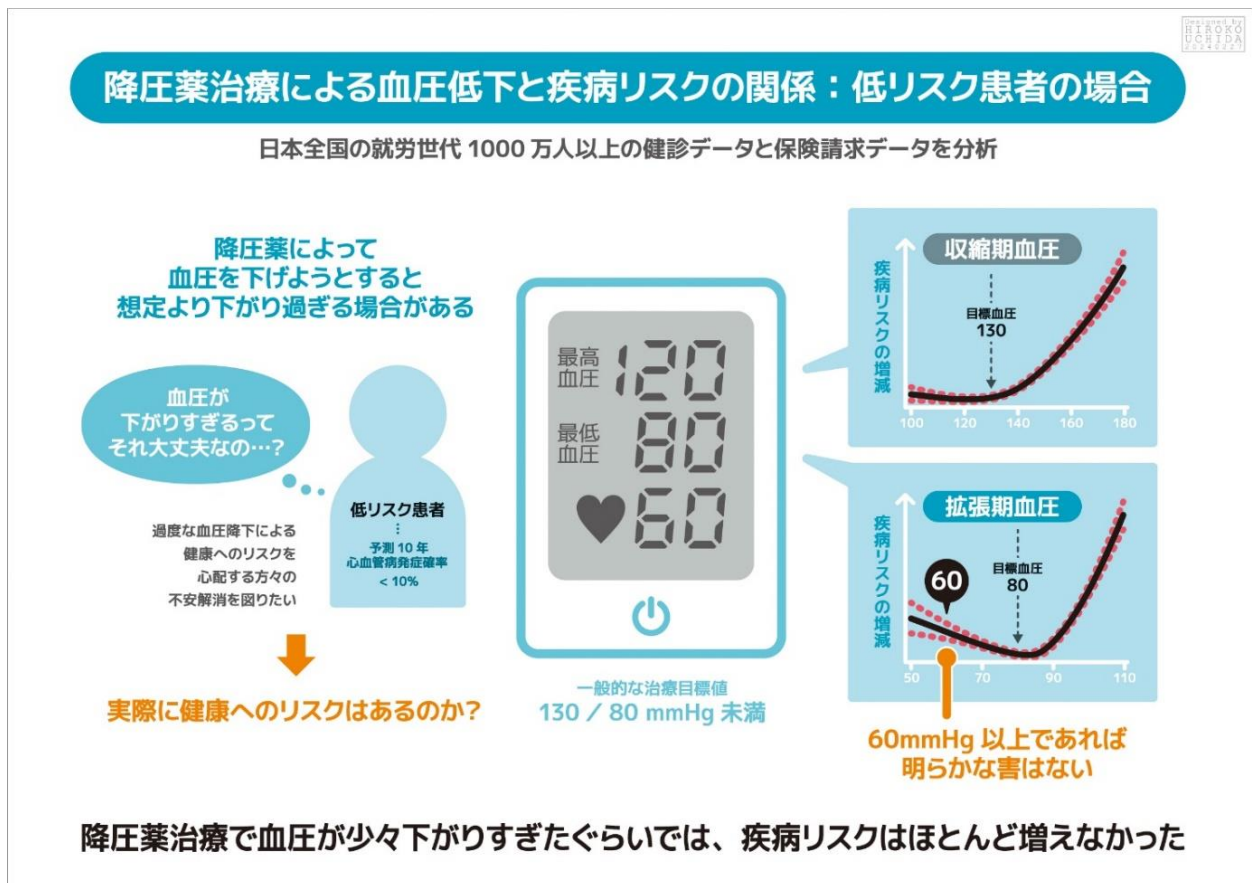
—全国コホート研究—

概要

京都大学大学院医学研究科 福間真悟准教授、森雄一郎同博士課程学生らの研究グループは、国内最大の医療保険者である全国健康保険協会（注1）に所属する就労世代 1000 万人以上のデータを利用し、降圧剤治療中で心血管病（心筋梗塞、脳卒中、心不全、末梢動脈疾患）の低リスク患者（注2）において、治療中低血圧が心血管病の新規発生に与える影響を分析しました。

一般的な血圧の治療目標値は 130/80mmHg 未満とされていますが、血圧を下げすぎた場合のリスクについては十分検討されていませんでした。今回、検討した低リスク患者では、収縮期血圧は 110mmHg 以下まで下がっても心血管病が増えることはなく、拡張期血圧も 60mmHg 以上を保てていれば明らかな心血管病の増加とは関連しないことが判明しました。

本研究成果は、2024 年 2 月 14 日に国際学術誌「Hypertension Research」にオンライン掲載されました。



1. 背景

高血圧は世界的な健康課題であり、早期段階からの適切な治療が心血管病のリスクを軽減します。

現在、日本をはじめとする全世界で高血圧患者さんの半数以上が血圧をコントロール出来ていないとされており、より適切な治療強化が必要です。

しかし、患者さんの大部分を占める低リスク（糖尿病、脂質異常症、喫煙、年齢などの、心血管リスク因子が軽度）の方々ほど、十分な降圧治療がなされていないという報告があります。

十分な降圧治療がなされない理由のひとつに、血圧を下げすぎることへの懸念が報告されています。

低リスクの患者さんでは、治療中に血圧が目標値よりも下がりすぎることの危険性について、ほとんど知見がありませんでした。

2. 研究手法・成果

就労世代 1000 万人以上の健診データと保険請求データ（注3）を分析しました。2年間の健診で継続して降圧薬を内服していた患者さんで、心血管リスクが低い方々（予測10年心血管病発症確率<10%）約92万人を同定し、治療中血圧と、その後起こる心血管病（心筋梗塞、脳卒中、心不全、末梢動脈疾患の新規発生）との関連を解析しました。

その結果治療中の収縮期血圧が110mmHg未満であっても心血管イベントは増加しませんでした。一方、治療中の拡張期血圧については60mmHg未満の場合に限り心血管イベントが有意に増加していました。また勿論、血圧が高いことは心血管イベントの増加と強く関連していました。

これらの結果から、低リスク患者では治療中血圧が目標血圧をある程度までは下回っても有害性は限られていると考えられました。

3. 波及効果、今後の予定

本研究の成果が、心血管リスクが早期段階にある低リスクの高血圧患者さんに対して、より適切な降圧治療が提供されるための有益な知見となることが期待されます。研究成果を解釈するうえで、本研究は治療中の血圧と心血管イベント増加の関連を検証したものであり、治療中血圧を変動させる介入の効果を検証したものでないことに注意が必要です。つまり、治療中の拡張期血圧が60mmHg未満の方がいた場合に、高血圧治療薬をやめるという介入が望ましいことなのかどうかを判断するためには、今後の検証が必要です。

4. 研究プロジェクトについて

全国健康保険協会（協会けんぽ）は、健診・保険請求データの分析環境を外部有識者に提供する委託研究事業を2020年度より行っています。本研究はこの『外部有識者を活用した委託研究事業』の支援を受けて行われました。

<用語解説>

注1 全国健康保険協会（協会けんぽ）

主に中小企業で働く被雇用者やその家族が加入する日本最大の医療保険者です

注2 低リスク患者

米国心臓協会・米国心臓病学会の提供する10年心血管病発症予測モデルに基づき、10年発症確率が10%を下回る方々を低リスク患者と定義しました。この定義は各種国際ガイドラインでも用いられています。

注3 保険請求データ

医療機関が保険者に医療費を請求するための明細書であるレセプトをデータベース化したもので、実際に行われた医療行為や処方された薬剤、また診断された病名や入退院の記録などが含まれています。

<研究者のコメント>

世の中に多く存在する低リスクの降圧剤治療中患者における適切な血圧管理の知見は、社会の重要な健康課題である心血管病を予防するためのアクションにつながります。私たちは保険者と連携し、大規模な健康医療データから得られた知見を基に、患者や医療者の行動を変えるアクションを保健事業に実装するチャレンジを行っています。

<論文タイトルと著者>

タイトル：Low On-Treatment Blood Pressure and Cardiovascular Events in Patients without Elevated Risk:
A Nationwide Cohort Study

低リスク患者における治療中低血圧と心血管イベント：全国規模コホート研究

著者：Yuichiro Mori（森雄一郎），Atsushi Mizuno（水野篤），Shingo Fukuma（福間真悟*）

*責任著者

掲載誌：Hypertension Research DOI：https://doi.org/10.1038/s41440-024-01593-y